科　目	芸術 (Art)
担当教員	西崎 渉 非常勤講師
対象学年等	機械工学科・1年B組・前期・必修・1単位【実技】(学修単位I)
学習・教育目標	C3(100%)
授業の概要と方針	・人間の不安や理解力とロボットを関連付けて,これからのロボットデザインについて考える.・持続可能な社会の実現のためのデザインの有用性を考える.　・表現及び鑑賞を通して,造形の要素の働きを理解し,造形的な特徴などを基に,全体のイメージや作風,様式などで捉えることを理解する.

	到　達　目　標	達成度		到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】ロボットデザインのコンセプトに関心を持ち,デザインの機能や効果,表現形式の特性などについて考えることができる.			レポート・思考の過程の記録(スケッチブック等)・手作りフリップで評価する.
2	【C3】自己の表現したい主題を大切にし,見通しを持ち,創意工夫して作品に取り組むことができる(主に表現).			発想や構想の記録(スケッチブック等)・作品で評価する.
3	【C3】造形的なよさや美しさを感じ取り,発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考えることができる(主に鑑賞).			思考の過程の記録(スケッチブック等)・レポートで評価する.
4	【C3】制作に必要な資料(情報)を集めたり,用具等を準備したりして,効果的に活用することができる.			資料の収集・用具の準備で評価する.
5				
6				
7				
8				
9				
10				

総合評価	成績は,レポート・思考の記録・発想・構想50%　作品50%　として評価する.100点満点とし,60点以上を合格とする. (備考)課題によっては,レポートのみのものがある.その場合はレポートを100%とする.
テキスト	「美術1」:(光村図書出版)
参考書	なし
関連科目	なし
履修上の注意事項	(授業で指示します) 中学校で活用していた絵の具・スケッチブック等があれば持参する. *ない場合は,それに代わる無地ノート,方眼ノート等を持参する. 必要に応じて,PCを活用する.

授業計画（芸術）		
	テーマ	内容（目標・準備など）
1	表現ー手作りフリップの説明　1	さまざまなロボットデザインのコンセプトについて対話し，思考を始める．フリップ制作に必要な，デザインの造形要素を理解する．
2	表現ー手作りフリップの制作　2	手作りフリップの制作に必要な資料を集め，見通しをもって制作するための計画立案をする．
3	表現ー手作りフリップの制作　3	手作りフリップの制作
4	表現ー手作りフリップの制作　4	手作りフリップ制作
5	表現ー手作りフリップの制作　5	手作りフリップ制作発表
6	鑑賞ー写真　　写真表現　　1	鑑賞ー写真映像メディア表現の著しい進化について対話を通して理解を深め，レポートにまとめる．写真テーマを考える．
7	表現ープロダクトデザイン　パーッケージ 1	SDGsを理解し，紙の素材の特性をいかしたパッケージを考える．
8	鑑賞ー写真　　写真表現　　2	提出された写真の相互鑑賞
9	表現ープロダクトデザイン　パーッケージ 2	パッケージ制作
10	表現ープロダクトデザイン　パーッケージ 3	パッケージ制作
11	表現(平面・立体)ー造形で自己開示を試みる　1	主題を決め，構想や発想をしながら作品制作の見通しを立てる．作品制作
12	表現(平面・立体)ー造形で自己開示を試みる　2	作品制作
13	表現ープロダクトデザイン　パーッケージ 4	提出されたパーッケージデザインの相互鑑賞
14	表現(平面・立体)ー造形で自己開示を試みる　3	作品制作
15	表現(平面・立体)ー造形で自己開示を試みる　4	相互鑑賞
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	中間試験および定期試験は実施しない． 対話を通して各々の思考が深くなるように授業を行う．制作については，小学校や中学校の時に使っていた，色鉛筆やクレパス，コンテ，水彩絵の具，ポスターカラー等を活用する．	